

賞金総額 1,000 万円！豊橋の農業課題 5 テーマが決定！

アグリテックコンテストの提案を募集しています

今年度より豊橋市では、「未来の農をつくる」と題し、農業イノベーションの創出を目指し、スタートアップと地元農業者・企業との共創による実証開発プロジェクト TOYOHASHI AGRIMEETUP を実施しています。農業者から抽出した課題から 5 テーマを選び、全国のスタートアップから解決策の提案を募集しています。



※アグリテックとは
農業 (Agriculture) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語。農業分野 (農業生産、流通、加工、販売等) において、AI や IoT など先進的なテクノロジーを用いて、課題解決に取り組みます。

本事業では農業をより広域的に捉え、長期的な視点で「食」にフォーカスした取組みにチャレンジされる方を広く募集します。

事業概要

農業者の課題を抽出 → アグリテック企業との交流機会の提供

→ スタートアップからの提案募集 → 選考 → アグリテックコンテスト

→ マッチング・プロジェクト組成 → 開発計画の策定 → 実証開発 (R 5 ~)

いまここ

ポイント アグリテックコンテストに参加するスタートアップを募集します！

1. 対象者

豊橋市の農業関係者 (生産者、JA、農業系事業会社、等) が抱える課題の解決や改善に向けた取り組みを実施できる個人・法人の方

2. 対象部門

課題解決部門・・・実証開発事業の開始から概ね 2年以内 の社会実装を目指す提案

未来創造部門・・・実証開発事業の開始から概ね 5年以内 の社会実装を目指す提案

3. 賞金 (支援金) について

総額 1,000 万円

4. 申し込み方法

下記 URL または QR コードを読み取り、応募フォームからお申込み下さい。

<https://forms.office.com/r/wTtnJDbByN> 【応募締切 11/14 (月) 17:00】

5. その他応募テーマ、スケジュールなど

別紙で詳細をご確認ください



問合せ 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野 (電話 51-3089)

別紙 アグリテックコンテスト募集概要

1. 対象部門、応募資格

以下の2つの部門からひとつを選択して応募する。

<対象部門>

①課題解決部門

本コンテスト終了後、令和5年度のうちに豊橋市内で実証開発事業が開始できる解決策であり、実証開発事業の開始から概ね2年以内の社会実装を目指す提案。解決策は既存の製品・サービスのための提案ではなく、豊橋市の農業課題解決に重点をおいた提案を求めます。

②未来創造部門

本コンテスト終了後、令和5年度のうちに豊橋市内で実証開発事業が開始できる解決策であり、実証開発事業の開始から概ね5年以内の社会実装を目指す提案。解決策は基礎研究段階の提案も可とする。

<応募資格>

豊橋市の農業関係者（生産者、JA、農業系事業会社等）が抱える課題の解決や改善に向けた取り組みを実施できる個人・法人の方

2. スケジュール

プレエントリー受付	令和4年9月1日～
エントリー受付	令和4年10月24日～
エントリー〆切	令和4年11月14日
審査期間（書類審査・面談審査）	令和4年11月中旬～12月中旬
ファイナリスト決定	令和4年12月下旬
コンテスト・表彰式	令和5年1月18日 場所：穂の国芸術劇場 PLAT
実証実験の計画策定	コンテスト終了後～令和5年3月中
実証実験の開始	令和5年4月～

3. 応募テーマ

番号	テーマ名	概要	想定品目（※）
1	土地利用型作物の生産性の向上	キャベツ、ブロッコリーをはじめ露地野菜の産地であり、果樹においては次郎柿の産地としても有名である。病虫害の防除や栽培・収穫作業における省力化、生産性の向上を通じて豊橋の露地野菜や果樹のさらなる発展を目指す。	・キャベツ ・ブロッコリー ・白菜 ・柿
2	施設園芸の高度化	花き、野菜などの施設園芸が盛んな地域であり、温室を始めとする農業資材メーカーも多く集積している地域である。施設園芸技術の高度化を通じて、燃料や人件費高騰に対する生産性の向上に取り組む。	・花き ・イチゴ ・ナス ・ほうれん草 ・アボカド ・トマト ・大葉 ・ラディッシュ

番号	テーマ名	概要	想定品目（※）
3	持続可能なエネルギー・農業資材の開発	世界情勢の影響で、燃料高騰や肥料、農業資材が高騰している。さらには、環境配慮型の農業への転換も求められていることから、新しい技術の開発・導入を通じて、持続可能なエネルギー、農業資材のモデル創出に取り組む。	・露地野菜 ・果樹 ・施設野菜 ・施設花き 等
4	地域の農業を支える人づくり	人件費の高騰、農業の担い手減少などの課題がある中で、人材の確保、人材の育成、作業生産性の向上、労務管理を通じて、地域の農業を支える人づくりに取り組む。	・露地野菜 ・果樹 ・施設野菜 ・施設花き 等
5	生産者と消費者を結ぶスマートサプライチェーン	集荷の効率化、需要予測、物流、農作物のブランディング、新たな販路開拓などを通じて、豊橋の魅力ある農産物を生産者から消費者まで広く届けるサプライチェーンを構築していく。	・露地野菜 ・果樹 ・施設野菜 ・施設花き 等
6	その他	テーマ1～5には該当しないが、豊橋市の農業課題の解決に資する提案	—

※想定品目欄に記載されていない品目の提案も柔軟に検討しますので相談ください

4. 審査ポイント

審査項目	対象部門	審査ポイント
導入可能性	課題解決部門のみ	豊橋市の農業関係者においてコスト等の観点から技術・サービスを導入・試用が見込めそうか
社会的インパクト	未来創造部門のみ	豊橋市および日本の農業の未来にとって、発展的であり、インパクトある取組かどうか
実用性	両部門共通	提案の技術・サービスは豊橋の農業現場で役立つものであり、豊橋の農業現場の課題が解決できると感じられるか
収益性		豊橋市の農業関係者が導入することで、継続的に収益性の向上が見込める技術・サービスになっているか
新規性・独創性		技術・サービスの提案に、新しい技術やこれまでにない視点が含まれているか
チーム体制・意欲		プロジェクトを推進する体制があるか チームメンバーは適切な人材がそろっているか 中長期で当地域の課題解決に想いをもって取り組みそうか
資金使途		予定している資金使途は適切か
市内農業者とのマッチングの確度		コンテスト終了後、市内農業者等との共創による実証開発に進めそうか